



The Program for
Global Human Resource Development
for Peacebuilding and Development

外務省委託事業 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業 「プライマリー・コース」

令和 8 年度 (FY2026) 日本人研修員応募要項

本事業は、国際社会の課題解決に貢献できる平和構築や開発分野の人材を発掘・育成し、国際機関でのキャリア構築を支援するために外務省が実施している人材育成事業です。令和 6 年度より国立大学法人広島大学が外務省から委託を受け、国連訓練調査研究所 (UNITAR) と協力し、海外派遣を実施する国連ボランティア計画 (United Nations Volunteers programme: UNV) と連携して同事業を実施しています。

「プライマリー・コース」では、平和構築・開発分野の国際機関において活躍する強い意志を有する日本及び各国の研修員 (日本人 11 名程度、外国人 10 名程度) を対象に、次の通り実施します。

- (1) **国内研修 (Japan Training Component)**: この研修は、オンライン事前研修 (ウェビナーと自己学習) と約 4 週間の対面研修で行われます。研修はすべて英語で実施されます。講師は国際機関の現役職員や勤務経験者、平和構築・開発分野の専門家等で構成されます。
- (2) **海外派遣 (UNV Overseas Assignment)**: 国内研修後、平和構築・開発分野における国際機関に国連ボランティアとして 1 年間海外派遣されます (海外派遣は日本人研修員のみ対象)。

このコースに参加する日本人研修員を次の要領で募集します。(本募集要項は日本国籍を持つ方が対象です。外国籍の方は外国人研修員対象の募集要項をご覧ください。)

1 研修期間

- (1) **国内研修** : 令和 8 年 (2026 年) 11 月 2 日 (月) ~ 11 月 27 日 (金)
(オンライン事前研修は、同年 10 月上旬より実施予定です。内容は、2 回のウェビナーに加え、ご自身のペースで取り組める課題形式の研修を予定しています。具体的な日程については、追って研修員の皆さまへご案内いたします。)
- (2) **海外派遣** : 令和 9 年 (2027 年) 1 月以降 (1 年間)
※実際の派遣日程は、受入機関の意向、マッチングの状況、予防接種やビザ発給等の手続き等により、各派遣案件によって異なります。

2 研修場所

- (1) **国内研修**：東京都内及び広島大学東広島キャンパスの研修施設等
- (2) **海外派遣**：世界各国の国際機関事務所。国連ボランティア計画(UNV)が、受入先となる国際機関の現地事務所とのマッチングを行い、渡航準備を支援します。

3 研修内容

- (1) **国内研修**：平和構築・開発に関する知識、国際機関の優先課題及び現状への理解を促進し、国際機関の人事システムやキャリアプランについて学び、国際機関等での職務に当たり求められる業務遂行能力(コンピテンシー)を向上するための実践型研修です(別紙 1 参照)。
- (2) **海外派遣**：平和構築・開発の現場で活動する国連機関の現地事務所等において、国連ボランティアとして実務を担当します(別紙 2 参照)。海外派遣中、研修員は派遣先の事務所において、国連ボランティアとして、他の国際機関の職員と同様に業務に従事することが求められます。

4 応募資格(以下のすべての要件を満たす者)

- (1) 平和構築・開発に関する諸分野(法律、行政、教育、保健・衛生、環境、データサイエンス、インフラ、交通工学、気候変動、ファンドレイジング、後方支援〔調達、IT、人事、財務、広報等を含む〕等)で、3年以上の実務経験を有する方(インターンやボランティア経験等も考慮します)。詳細な分野および職種につきましては、以下の10項目をご確認ください。
- (2) 大学学部卒相当以上の学位を有する方
- (3) 今後、平和構築・開発分野に携わる強い意志を有する方
- (4) 2026年4月1日時点で27歳以上、39歳以下の方
- (5) 日本国籍を有する方
- (6) 英語力が以下のレベル、もしくは以下の基準と同等の英語力を有する方※
 - a. TOEFL iBT 2026年1月21日以前の受験:90点(Listening, Reading, Writing, Speaking の全セクション22点)以上。2026年1月21日以降の受験:4.5点(Listening, Reading, Writing, Speaking の全セクション4.5点)以上
 - b. TOEIC (L&R 900点、S&W 345点)
 - c. IELTS 6.5点(Listening, Reading, Writing, Speaking の全セクション6.5点)以上※証明書の写しが提出できない場合語学力を証明する「Recommendation Letter on Candidate's English Language Proficiency」を提出してください。
※Duolingo English Test のスコアは参考資料としてご提出いただけますが、必ず「Recommendation Letter on Candidate's English Language Proficiency」とともにご提出ください。
※英語力に関するスコア要件に関しましてご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせ

わせください。

※英語以外の語学力を有する方は歓迎いたします。特に、国連公用語(フランス語・スペイン語・ロシア語・中国語・アラビア語)を使用できる方。

(7) 原則として国内研修・海外派遣に全て参加することができる方

(8) 合格者には、海外派遣開始までに UNV 基準にしたがって、健康診断・予防接種を受けていただき、海外派遣に支障があることが判明した場合は、海外派遣に参加出来ない場合があります。

5 国内研修参加費

令和 8 年(2026 年)度の国内研修参加費は 297,916 円です。なお、参加費の納入期日、納入方法は別途お知らせいたします。また、納入後は、理由の如何を問わず返還いたしません。

参加費に含まれているもの

- 研修費
- 国内研修期間中の宿泊費
- 国内研修期間中の研修に必要な国内移動費

参加費に含まれていないもの(自己負担)

- 研修開始地(東京)までの往復旅費
- 宿泊費以外の食費・生活雑費
- 手荷物運搬や超過料金等

海外派遣の期間中は、外務省予算として国連ボランティアを通じて現地で必要な生活費が支給されます。その他に渡航費用(採用時の居住地から赴任地までの最短ルートのエコノミー料金)や着任手当、離任手当等が支給されます。

6 応募方法

(1) 応募書類

a. Primary Course Application Form

こちらよりダウンロードしてください

[Primary-Course-Application-Form.docx](#)

b. Supplementary Employment Information Form

前職等が 4 つ以上あり、Primary Course Application Form の「SECTION 3: EMPLOYMENT INFORMATION」に書ききれない場合のみご提出ください。

こちらよりダウンロードして記入してください

[Supplementary-Employment-Information.docx](#)

c. 語学力を証明する書類

応募締切日から過去5年以内に受験したTOEFL、TOEIC、IELTS等の成績証明書又はスコアシートの写し ※証明書の写しが提出できない場合語学力を証明する「Recommendation Letter on Candidate's English Language Proficiency」を提出してください。こちらよりダウンロードして記入してください

[Recommendation-Letter-on-English.docx](#)

(2)送付先

広島大学国際室国際部留学交流グループ GPAD 事務局

Email: gpad-primary@office.hiroshima-u.ac.jp

7 応募締め切り

2026年6月7日(日) 日本時間午前9時必着

8 選考方法

(1) 第一次審査 : 書類選考

平和構築・開発分野での実績と今後の同分野でのキャリアの展望、国連ボランティアとしての適性により判断します。

(2) 第二次審査 : 英語によるオンライン面接

2026年7月下旬に実施予定です。

9 選考結果の通知

2026年9月上旬までに、電子メールで応募者全員に合否結果の通知を行います。その後、合格者会合及び駐日国際機関とのオリエンテーションを9月中旬から10月中旬頃にオンラインで行います。合格された方には別途、誓約書をご提出いただきます。

10 海外派遣決定プロセス

(1) 2026年10月上旬を目途に、面接を通過された最終合格者の方にはその時点での派遣先候補となるポスト(Description of Assignment: DOA)を複数提示予定です。その後、10月中旬以降、最終的な派遣先として希望するポストをUNVに提出していただきます。UNVによるマッチング、さらに派遣を希望する国際機関事務所による審査を経て、派遣先が正式に決定します。今年度の派遣先候補の分野および地域は以下を想定しています。

【分野・地域一覧】

(ア) 分野

- ① ガバナンス・ローカルガバナンス(含:法の支配、治安部門改革、政治)
- ② 安全保障(含:移行、女性及び青年・平和・安全保障(WPS・YPS))
- ③ 和平(含:調停・仲介、履行、移行期正義、紛争解決)
- ④ 雇用・経済(含:武装解除・動員解除・社会復帰、公共サービス)
- ⑤ 人道支援(含:難民・国内避難民支援、人の移動)
- ⑥ 食糧安全保障、農業、気候変動
- ⑦ 誤情報・ヘイトスピーチ、暴力的過激主義
- ⑧ 災害リスク軽減
- ⑨ 国際法(特に国際人道法及び難民法)
- ⑩ 開発経済学及び環境経済学
- ⑪ 教育、保健及び衛生
- ⑫ 人権問題(特にビジネスと人権)

(イ) 職種

- ① 政務分析・政治分析
- ② プログラム管理系
- ③ バックオフィス (サプライチェーン・調達、物流・在庫管理、IT、人事、財務、パートナーシップ構築、ファンドレイジング、広報・コミュニケーション、データ分析、モニタリング・評価、法務)
- ④ データサイエンス
- ⑤ 人工知能(AI)及びデジタルイノベーション

(ウ) 地域: 主に開発途上国(外務省危険レベル3以上の地域は除く。外務省 HP 上の海外安全情報ご参照): <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

(2) 派遣先候補は現在調整中のため、ご希望にそぐわない可能性がある点をご留意ください。

※研修員はマッチングに関する相談を広島大学、UNVもしくは駐日国際機関と行うことが出来ません(駐日事務所がない国際機関、及び、駐日事務所が相談窓口とならない機関については、UNVと調整の上別途相談先をお知らせします。その他、相談先についてご不明な点があれば個別にご照会下さい。)なお、マッチングに関するガイダンスも UNV により開催されます。

11 研修員の身分

国内研修中の身分は、所属の有無にかかわらず「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業研修員」(Program Associate)となります。併せて広島での国内研修中は、広島大学短期国際交流学生の身分を付与する予定です。また、研修を修了された方には修了証明書を授与いたします。なお、海外派遣の期間中は、「国連ボランティア」の身分を持ち、UNVの規定(Conditions of Service)に基づいて

任務を遂行していただきます。詳しくはこちらをご覧ください：[Conditions of Service for UN Volunteers \(Version 1.2 effective 1 April 2026\)](#)。

12 研修員の責務

誠実に研修を履行していただくとともに、研修期間中及び修了時には、定期活動報告書を提出していただきます。また、海外派遣期間中は UNV の規定 (Conditions of Service) に従い、国連ボランティアとしての義務 (国連ボランティア計画に対する報告書の提出等) を遂行していただきます。外務省は、研修員の国内研修の実施に必要な費用の大部分に加え、海外派遣に必要な費用も負担していますので、研修員には、国内研修及び海外派遣の任期を全うするとともに、海外派遣後、国連・国際機関における正規のポストの獲得を含め、平和構築・開発等の分野において活躍するよう努めていただきます。研修修了後は、講師として本事業における人材育成にご協力をいただいたり、後に続く研修員の就職支援などのご協力をお願いしたりすることがあります。

13 研修修了後の支援体制

内外の関係機関の協力のもと、就職に関する情報提供、修了生のネットワーク作りなど、研修修了者が平和構築・開発の現場で活躍するための支援が提供されます。

14 その他の注意事項

- (1) 応募時に提出された個人情報 は、本事業以外の目的では使用しません。なお、事業実施中に撮影される写真は、外務省等により行われる本事業の広報のために使用されることがあります。
- (2) 応募書類は一切返却しません。
- (3) 過去1年以内に国際機関等に応募された方は、直近3件の機関名・ポスト名・レベルを申込書に記載ください (JPO、UNV、コンサルタント等含む)。
- (4) 募集期間中に、応募者向けにオンライン説明会を開催します。詳細は以下のウェブサイトにてご確認いただけます。
- (5) 海外派遣中は UNV の基準に基づき保険に加入していただきますが、研修員一人一人が日本とは異なる条件下で生活するという自覚を持って行動していただきたく、お願い致します。不可抗力による万一の事態に対して広島大学、UNITAR 及びその他実施機関または関係機関は責任を負いかねますので、予めご承知おき願います。なお、治安状況によっては派遣を延期または中止するということもあり得ます。また、派遣中に治安が悪化した場合は、現地の状況に応じて

日本または安全な第三国に避難していただくこともあり得ます。派遣中の安全管理は、原則として国連基準に拠って行われます。

(6) 扶養家族の随伴は原則として認められておりません。

15 お問い合わせ先

広島大学国際室国際部留学交流グループ GPAD 事務局 (Tel: 082-424-6792)

Email: gpad-primary@office.hiroshima-u.ac.jp

GPAD Website: <https://gpad.hiroshima-u.ac.jp/>



The Program for
Global Human Resource Development
for Peacebuilding and Development

Attachment 1 (別紙 1)

Primary Course: Japan Training Component (国内研修)

The Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development was established by the Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) in order to strengthen the capacity of individuals working for peacebuilding and development. The Japan Training Component of the Primary Course is an intensive four-week training program held in Tokyo and Hiroshima, Japan. Since 2024, this course has been delivered by Hiroshima University in close cooperation with the United Nations Institute for Training and Research (UNITAR) and the United Nations Volunteers (UNV) programme.

The course is designed to prepare peace and development professionals (hereafter Program Associates) to use the frameworks and tools used by international organizations and other actors in peacebuilding and international development, and to build their technical and soft skills to enhance their effectiveness in their jobs. In addition, the course helps Program Associates to clarify their own career aspirations and to enhance their employability, including learning about UN recruitment processes and competencies. Finally, as most of the program takes place in Hiroshima — a city that rebuilt itself from the devastation of the atomic bomb — Program Associates will draw on the city's journey of reconstruction to examine the relevance of the city's experiences for the challenges of today.

Following the Japan Training Component, Japanese Program Associates will be assigned as a UN Volunteer in an international organisation for one year.

1. Course Dates, Modality and Methods of Delivery

The training will be delivered by experienced trainers, including current and former UN staff, academics from Hiroshima University and other institutions, and other experts. The training uses blended learning that combines online learning and in-person training.

- **Online (2 sessions in October 2026):** Program Associates will participate in 2 online preparatory sessions, where they will be introduced to each other and be given a pre-training assignment, to be completed before the in-person training starts (the dates and times will be set at a later date).
- **Week 1 (November 2-8, 2026):** Program Associates will meet in Tokyo and start their training on fundamental aspects of the United Nations. In addition to participating in lectures and discussions, they will visit the Ministry of Foreign Affairs and other organizations involved in peacebuilding and international development.

- **Weeks 2-4 (November 9-27, 2026):** Training will be delivered in person, mainly at the Higashi-Hiroshima campus of Hiroshima University in Hiroshima Prefecture. Program Associates will participate in interactive lectures, group discussions, case studies, role-playing, and other sessions to enhance knowledge and skills.

2. Content

The training will focus on the following main themes:

- **Substantive Knowledge** including the guiding principles of the United Nations; multilateral approaches to peacebuilding; the Humanitarian-Development-Peace (HDP) nexus¹; economic, social and environmental frameworks such as the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Pact for the Future; and emerging issues such as artificial intelligence.
- **Effective Working Skills** such as program planning and project management skills; communication and presentation skills; and skills associated with UN 2.0 initiative whose key areas are Data, Digital Transformation, Innovation, Strategic Foresight and Behavioural Science.²
- **Career Development Skills** such as UN competencies, values and behaviors; management skills; well-being; and career planning, including job applications and interview preparation.
- **Reconstruction Lessons from Hiroshima** including a visit to the Hiroshima Peace Memorial Museum.

3. Post-training Follow-up

Following the training, Program Associates will receive a certificate and be invited to join the Global Peace and Development Career Network. This Career Network will provide information and further advice on career development.

¹ Humanitarian-Development-Peace (HDP) nexus
<https://www.undp.org/crisis/humanitarian-development-and-peace-nexus>

² UN 2.0 and Quintet of Change
<https://www.un.org/two-zero/en>

Attachment 2 (別紙 2)

Primary Course: Summary of Overseas Assignment (UN Volunteer assignment) (海外派遣)

Peacebuilding and Development (HRD Program), Japanese Primary Course Program Associates will be deployed to UN partner agencies as UN Volunteers for one year to work in the fields of peacebuilding and development. This assignment is administered by the United Nations Volunteers (UNV) programme. The deployment process, including the identification of assignments, recruitment, pre-departure arrangements, and volunteer management during the assignment and repatriation, is administered in accordance with UNV rules and regulations. However, the following unique process is adopted as part of UN Volunteer assignment component of the Program. Please note that this overseas assignment is only for Japanese Primary Course Program Associates and will begin after the successful completion of the Primary Course training.

Overseas assignment through UN Volunteer assignment

Although UN Volunteer assignments will enhance knowledge and professional skills of the Program Associates, the UN Volunteer assignment itself is not a training. Each Program Associate is therefore expected to contribute to peacebuilding through his/her own expertise as a professional in the form of volunteering. UN Host entities expect the Program Associates to perform their assigned duties in a professional manner.

UN Volunteers are deployed to directly work with UN agencies to support vulnerable population, including refugees, women, children and people in conflict-affected areas. Activities include support to socially excluded groups to participate in the peacebuilding and development planning process, protection and assistance to people exposed to risk, and the strengthening of public administrative capacity to meet the basic needs of vulnerable groups. With the basic principle of contributing to peacebuilding, peacekeeping and development through the promotion of volunteerism, UN Volunteer assignments support areas including the following (list is not exhaustive):

- Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups
- Crisis prevention and recovery
- Capacity development of public institutions
- Food Security, environment and climate change
- Education, health and hygiene
- Data science
- Artificial Intelligence (AI) and digital innovation

Sample of assignments

Crisis prevention and reconstruction

- Prevention of violent conflict, national capacity development for reconstruction
- Capacity development of community members in negotiation and mediation
- Promotion of community members' participation in communication campaign for peace
- Community security, promotion and monitoring of human rights and rule of law

Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups

- Protection and promotion of human rights for refugees and victims of conflicts and sexual violence
- Support for social reintegration of former combatants, displaced persons and vulnerable groups
- Youth leadership in communities, participation in decision-making, conflict resolution and social development

UN missions

- Support for mission activities in key areas (protection, rule of law, security sector reform, civil affairs, DDR, natural resource management, etc)

UN Volunteer assignments are selected through collaboration between UNV, Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) and Hiroshima University based on the needs of UN partner agencies in the field including UNDP, UNHCR, UNICEF, UNFPA, WFP, IOM, FAO, UNDRR, UNOPS, UN Women, among other UN Entities.

The list of assignments is proposed based on the following factors:

- International cooperation policy of the Government of Japan and UNV's strategic priority areas
- Safety of Program Associates in deployed duty stations based on the security standards of the Government of Japan
- Supervision and support structure at Host Entities
- Distribution of volunteers by UN Entities and region/country

Selection of assignments and matching process

- Potential assignments are selected and approved by MOFA in advance to the selection of shortlisted candidates.
- A list of potential assignments will be shared with shortlisted candidates who passed the screening of application forms, so that they can check the suitability and availability of assignments of their interest.
- After Program Associates are selected, an orientation by UN Agencies in Japan and a briefing session for the matching process by UNV are planned for Program Associates.
- The designated Program Associates can apply for assignments of their interest. They may consult with Hiroshima University or UN Agencies in Japan as needed (in case a designated Program Associate wishes to contact an agency which does not have an office in Japan or an agency, the office of which in Japan is not in the position to provide consultation services, an appropriate focal point of the agency will be identified through necessary coordination. The designated Program Associates can make inquiries to such focal points of potential Host Agencies). However, it must be emphasized that designated Program Associates must refrain from direct contact with the Host Entities (offices which they are interested in and might be assigned to).
- UNV will ensure that designated Program Associates' backgrounds match requirements of the assignments. Program Associates should note that they are required to have relevant experience that aligns with the requirements of the assignment and with the specific UN Host Entity, for which they are applying. For instance, Program Associates should not expect

a placement with UNHCR if they lack relevant work experience in refugee and humanitarian contexts. In case a Program Associate does not meet the requirements, UNV would propose an alternative with a better match.

- UN Host Entities will conduct the selection of Program Associates through interviews (or desk reviews as an option). If more than one Program Associate opt for the same assignment, the selection will be a competitive process. Matching process will be completed upon positive interview result and acceptance by Host Entity as well as confirmation of the Program Associate's appropriate medical status.
- If the process is unsuccessful, a Program Associate will apply for another post and repeat the process. Please note that there are no guarantees that the Program Associates can be matched with the assignments that they selected as their primary preference.
- In principle, assignments selected for the Program are for the Program only. However, in the case of assignments to UN Missions, the selection of candidates will be conducted as per the regular processes for UN Volunteers, which includes applicants other than Program Associates.

Deployment period of overseas assignment

The deployment is expected to begin from January 2027 onwards following the completion of coursework in Japan. The actual date of deployment varies among Program Associates depending on the status of matching process, intentions of Host Entities, and progresses on pre-departure preparations.

Status of Program Associates during overseas assignment

- Program Associates will be deployed as International UN Volunteers. International UN Volunteers are not UN staff members and are administered based on the associated Unified Condition of Service. Conditions of Service Version 1.2 effective 1 April 2026: https://explore.unv.org/sites/default/files/2026-04/Conditions%20of%20Service_EN.pdf
- International UN Volunteers are provided with entitlements and allowances during the period of assignments. It includes the Entry Lump Sum allowance to cover pre-departure expenses incurred before and initially upon commencement of service, travel tickets, Monthly Living Allowance (MLA), and the Exit Lump Sum allowance. Calculate entitlements and allowances on Unified Volunteer Platform (UVP): <https://app.unv.org/calculator>
- The UNV Onboarding Portal provides candidates with information and guidance on the preparation for the assignment. UNV Onboarding Portal: <https://www.unv.org/become-volunteer/onboarding>
- UN Volunteer assignments under the HRD Program are considered as **assignments without family**, as per the policy of the Government of Japan for this Program. In case of unavoidable circumstances, Program Associates can only bring their dependents at their own costs and responsibility to support arrangements for their visa and accommodation. In that case, any potential travel of dependents to/from the duty station would be considered as private, i.e. neither UNV nor the Government of Japan will support the cost associated with the recognized dependents' travel.